

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2025年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	2025年3月18日		～ 2025年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月6日		～ 2025年 3月17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	62	(回答数) 62
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪圏域内では唯一医療機関併設の保育所等訪問支援事業所である。そのため、医療と教育、福祉の連携が取りやすい。 ・医療領域で療育の経験のある訪問支援員が、こどもを観察し助言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の同意のもと、主治医並びに療育担当者（PT・OT・ST・CP等）と情報共有し、必要に応じ地域の子ども課・福祉課等と連携し長期的に支援が行えるように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において中学生以降の精神科との連携が課題であり療育フォーラムを通し医療機関同士の連携を図っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにそった医療での療育に加えインクルーシブの理念を生かし子どもの生活する場所での発達支援が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期、学童期、青年期にわたり、子どもの特性を配慮した環境調整や関わりにより、二次障害の予防を意識して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粗暴な言動が家庭や学校で目立つ場合、児童相談所との連携や入院機能を併せ持つ専門病院との連携に取り組んでいる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に心配のある子どもに対して、医療機関として専門的な療育に並行して訪問支援を通して地域に根差した包括的な取り組みができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターと連携した支援が行えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターから、若者支援へのつながりを模索している。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者に対応できにくい状況。 当センター外の相談支援事業者を介しての利用希望者数に対し、訪問支援員は2名体制であり答えられない状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの様子から、ピンポイントに必要なリハビリ担当者の同行訪問など案としてあるが、経済的な収支も含めて考える必要があり検討中である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外来診療、外来訓練対象児と家庭環境から福祉領域で支援の必要なこどもなど、優先順位を行政含め考えていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・連携に伴う負担。 モニタリング会議の際には、訪問記録を基に問題と課題の推移がわかる資料を毎回作成している。資料作成にかかる時間及びしばしば勤務時間外になる会議などあり負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間内でモニタリングが行えるよう、相談支援事業所と訪問先と打ち合わせを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議会場までの移動時間の改善を目指し、デジタルツールの活用を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援事業の周知活動が必要。 訪問支援事業の理解が進んでいるが、担当者の移動などもあり引き続き医療、教育、福祉領域に周知していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容を記したリーフレットを活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援の目的、内容、重要性など、わかりやすく簡潔に保護者向け、教育関係者向けなど分けてリーフレットを作成し配布する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業者名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

公表日 2024年3月25日

保育園・幼稚園

利用児童数 3 2024年3月17日 回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	面接室等が整えられていますか。	2			1		
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	3	訪問支援の頻度など、相談の上決定されていますか。	3					
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が、支援計画に反映されていると思いますか。	3					
	5	個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					
	6	支援計画に沿った支援が、行われていると思いますか。	3					
保護者への 説明等	7	「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	8	必要なときに子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が、できていると思いますか。	3					
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	10	子どもや家族からの相談に対して、利用できる福祉サービス機関など助言や提案がありますか。	3					
	11	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					
	12	保育所等訪問支援の際に、訪問先施設と子どもの様子について話し合われていると思われませんか。	3					
	13	訪問支援の実施後、保護者に対して報告がされていますか。	3					
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常 時の 対応	15	訪問支援では、緊急時に訪問先施設と連携し、安全確保の対応できるようにしていると思いますか。	2			1		
満足 度	16	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
	17	訪問支援事業に満足していますか。	3					

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

小学校

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 41 2025年 3月17日 回収数 32

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	面接室等が整えられていますか。	26	2		4		
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	32					
	3	訪問支援の頻度など、相談の上決定されていますか。	31	1				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が、支援計画に反映されていると思いますか。	32					
	5	個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	29	2		1	・担任の意向が盛り込まれていないような気がする。	・担任の先生との連携を取っていくようにしていきます。
	6	支援計画に沿った支援が、行われていると思いますか。	30	2				
保護者への 説明等	7	「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	8	必要なときに子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が、できていると思いますか。	31			1		
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1				
	10	子どもや家族からの相談に対して、利用できる福祉サービス機関など助言や提案がありますか。	27	2	1	2		
	11	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	32					
	12	保育所等訪問支援の際に、訪問先施設と子どもの様子について話し合われていると思われますか。	32					
	13	訪問支援の実施後、保護者に対して報告がされていますか。	32					
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30			2		
非常時 等の 対応	15	訪問支援では、緊急時に訪問先施設と連携し、安全確保の対応できていると思いますか。	31			1		
満足度	16	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	31	1				
	17	訪問支援事業に満足していますか。	32				・訪問について詳しく伝えて頂いたり、学校や親にアドバイスを頂いたり、会議に資料を作って頂き大変ありがたい。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業者名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

中学校

公表日 2025年3月25日

利用児童数 26 2025年3月17日 回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	面接室等が整えられていますか。	12	1		1		
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14					
	3	訪問支援の頻度など、相談の上決定されていますか。	13	1				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が、支援計画に反映されていると思いますか。	13	1				
	5	個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	1				
	6	支援計画に沿った支援が、行われていると思いますか。	12	1		1	・計画して頂いたことが学校で実行できているか少し不明	特別支援教育コーディネーターと連携し支援計画の推移を注意していきます。
保護者への 説明等	7	「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	8	必要なときに子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が、できていると思いますか。	14				・モニタリングのタイミングでしか行き会うチャンスなく、もう少し話せると良い。困ったときに連絡しても良いか	ショートメッセージなど積極的に利用していきたいと思います。
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	10	子どもや家族からの相談に対して、利用できる福祉サービス機関など助言や提案がありますか。	13	1				
	11	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	1				
	12	保育所等訪問支援の際に、訪問先施設と子どもの様子について話し合われていると思われませんか。	13			1		
	13	訪問支援の実施後、保護者に対して報告がされていますか。	14					
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時 等の 対応	15	訪問支援では、緊急時に訪問先施設と連携し、安全確保の対応できるようにしていると思いますか。	10	1		3		
満足 度	16	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12			2		
	17	訪問支援事業に満足していますか。	13	1				

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業者名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

高等学校

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 10 2025年 3月 17日 回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	面接室等が整えられていますか。	6					
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	3	訪問支援の頻度など、相談の上決定されていますか。	6					
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が、支援計画に反映されていると思いますか。	6					
	5	個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6					
	6	支援計画に沿った支援が、行われていると思いますか。	6					
保護者への説明等	7	「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	8	必要ときに子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が、できていると思いますか。	6					
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	10	子どもや家族からの相談に対して、利用できる福祉サービス機関など助言や提案がありますか。	6					
	11	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					
	12	保育所等訪問支援の際に、訪問先施設と子どもの様子について話し合われていると思われませんか。	6					
	13	訪問支援の実施後、保護者に対して報告がされていますか。	6					
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時の対応等	15	訪問支援では、緊急時に訪問先施設と連携し、安全確保の対応できるようにしていると思いますか。	6					
満足度	16	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					
	17	訪問支援事業に満足していますか。	6					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

幼稚園・保育園

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 3 2025年 3月 17日 回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問の頻度は適切と思いますか。	5				
2	訪問支援員は、子どもにあった支援を先生と相談していますか。	5				
3	訪問支援事業所と情報共有し、取り組んでいますか。	5				
4	訪問支援事業が、子どもの園や学校生活に役立っていると思いますか。	5				
5	モニタリングなどで、課題や今後の方向性について話し合われていますか。	5				
6	相談しやすいですか。	5				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none">定期的な訪問のため、その時にこまっている事を相談できた。写真記録があり振り返りやすく良かった。わかりやすく勉強になった。見たい保育設定・場面の希望があると良かった。特性を持った子供の援助のアドバイス、相談できた事が心強くありがたかった。こどものとらえかた、援助等沢山学べた。その子、時期、少し先を見通したアドバイスがあり、道しるべのようで良かった。共通の思いを持って一緒にやっていく事ができ、話合いの場がありがたい。					<ul style="list-style-type: none">自然な生活場面や必要に応じて参観場面を伝えていますが、切り替え場面等具体的な意図を伝える必要があった。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

小学校

公表日 2025年3月25日

利用児童数 41 2025年3月17日 回収数 34

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問の頻度は適切と思いますか。	28	6		<ul style="list-style-type: none"> •それほど多くなくても良いか。 •相談の時間がもう少し欲しい •学校職員の相談できる時間をもう少し欲しいが、これが精いっぱいとも考える。情報共有とアドバイスを頂きありがたい •1か月に1回の訪問で様子の変化を伝えることが出来ている •頻繁と間があく時との違いが分からない為どちらともいえない。 •同じ学校に4名いるため、ゆっくり個別の話が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> •その子の状態に合わせて頻度を決めてきています。 •先生方との話合いの時間は取っているが、要点をまとめて話すように心がけます。
2	訪問支援員は、子どもにあった支援を先生と相談していますか。	34			<ul style="list-style-type: none"> •支援方法のアドバイスを頂きありがたかった •色々な手段を提示して頂いている 	
3	訪問支援事業所と情報共有し、取り組んでいますか。	32	2		<ul style="list-style-type: none"> •情報を共有することで薬の変更等もスムーズにできてありがたかった •共有できている •学校ではその様子を知る機会があまりない •記録を渡している •情報交換ができるのはとてもありがたい 	
4	訪問支援事業が、子どもの園や学校生活に役立っていると思いますか。	33	1		<ul style="list-style-type: none"> •支援がよりよくなるなら子どもにとっても良いのではないか •信用できる外部の方が子供の様子を見てくださるので、保護者にとっても安心 	
5	モニタリングなどで、課題や今後の方向性について話し合われていますか。	33	1		<ul style="list-style-type: none"> •自分の見方では気付けない考え方や捉え方があり支援が深まる 	
6	相談しやすいですか。	33	1		<ul style="list-style-type: none"> •学校の時間が忙しく、なかなかお話が出来なかった •困っていることに親身になって聞いて下さり助かる •3年間お世話になっており相談しやすい。 •信頼している •いつも相談に乗って頂きとても心強い 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> •相談しやすい。 •細やかに見ていただきありがたい。 •箸の指導アドバイスが良かった。 •成長を継続的に見て頂き、共有ができた。 •丁寧に見ていただき、的確なアドバイスがありがたい。 •適切な助言があり、こどもへの支援にすぐに反映できありがたい。 •継続した定期的な訪問を子どもは喜んでいました。 •様子を直接みて、支援の方向性の相談に乗っていただけ良かった。 •必要な時のセンターの橋渡しをしていただきありがたかった。 •訪問時の話し合い、モニタリング会議でゆっくり情報共有ができて良かった。 •担任では気づけない子どもの様子を見てもらった。 •こどもの支援及び先生の指導にもアドバイスをいただき、ありがたい。 •モニタリング資料がわかりやすく、成長の振りかえり、指導に行き詰った時に活用した。 •こどもの実態を共有し次なる課題についてのアドバイスが良かった。 •客観的な視点から意見をもらい反映できた。 •学校から保護者に伝えにく事、保護者に伝わりにくい事を専門家の視点で伝えてもらいありがたい。 •丁寧に子どものすがたを見取り、具体の姿でアドバイスをいただけた。 •見直し振り返りができてありがたい。 •授業、休み時間等いろいろな角度からこどもを見ていただき、適切なアドバイスがもられた。 					これからも、丁寧な関わりを実践していきたいと思っております。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問事業所 信濃医療福祉センター

中学校

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 26 2025年 3月 17日 回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問の頻度は適切と思いますか。	18			・ちょうどよい	先生方と相談し、適切な訪問のタイミングを設けていきたい。
2	訪問支援員は、子どもにあった支援を先生と相談していますか。	18			・担当が空き時間をとれず相談できないのが残念	二次障害による問題行動に関しては、引き続き時間外の連携をお願いします。
3	訪問支援事業所と情報共有し、取り組んでいますか。	18			・情報共有できている ・学校来校時に声をかけて頂き、情報共有できたのでありがたかった。	児の状態により医療や福祉の情報も共有していきたいと思います。
4	訪問支援事業が、子どもの園や学校生活に役立っていると思いますか。	18			・利用している生徒の居場所が出来たことが何よりだと思う ・役立っている	児に合わせ、教室外での訪問も継続したいと思います。
5	モニタリングなどで、課題や今後の方向性について話し合われていますか。	18			・関係各所と連携が取れていてありがたい	担当者が変わることにより、情報が途切れないよう注意したい。
6	相談しやすいですか。	18			・相談しやすい	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none">・子ども、家族を理解していて、必要に応じた適切なアドバイスをいただけた。・学校の生活の様子がセンターに伝わって本人の困っている子への支援に繋がりが良かった。・細かく見取り、支援の方向性のアドバイスがあり、良かった。・学校の実情を見てもらいその中での生の姿から適切なアドバイスがあり良かった。・良く子どもを見られ、支援のアドバイスをたくさんして頂き、指導に生かされた。・対象児を幼少期から見ていただき、これまでの成長含め支援の方向がわかり良かった。・医療と福祉と連携するためにありがたかった。・授業だけでなく、休み時間含め学校生活全体から話して頂きありがたかった。・子どもが困っているとき相談にのっていただき、また成長している姿を教えてもらい良かった。・丁寧に対応がありがたい。情報共有できて良かった。					児の成育歴、認知特性、発達段階を考慮し、家庭生活・学校生活の両面から児を捉え、保護者・先生方と相談しながら訪問支援を行いたいと思います。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター

高等学校

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 10 2025年 3月 17日 回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問の頻度は適切と思いますか。	4	1		・本人の気持ちのムラがある こともあり何とも言えない。	本人の状況により訪問支援の支 給量の枠外対応として電話にて 対応している。
2	訪問支援員は、子どもにあった支援を 先生と相談していますか。	5				
3	訪問支援事業所と情報共有し、取り組 んでいますか。	5				
4	訪問支援事業が、子どもの園や学校生 活に役立っていると思いますか。	5				
5	モニタリングなどで、課題や今後の方 向性について話し合われていますか。	5				
6	相談しやすいですか。	5				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・手厚く本人の特性に合わせた支援をして頂きありがとうございました。 ・いつも細かな見立てをしていただきありがとうございます。 ・継続して姿を見ていただき様子がわかりありがたい。 ・家庭と学校との間に入って様々な連絡などでつないでいただきありが たしい。					担任・特別支援教育コーディネーター・進路指導・管理職の先 生方を交えた支援会議を今後も行い、教育・医療・福祉・就労 の連携をより深めて いきたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 保育所等訪問支援事業所 信濃医療福祉センター 公表日 2025年 3月 25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	2		教材に関しては児の特性を考慮し、バージョンやPCの利用を先生方と検討している。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	訪問支援の希望者数など踏まえ、今後検討していきたい。	訪問支援員の増員が県とできるといい。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		訪問支援を希望する保護者の意向、地域の実情を踏まえたPDCAを心掛けている。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		適時、保護者とは電話やメールで意向が開ける状態を作っている。	保護者向け評価表結果により明確になった改善点を検討していく。
	5 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		必要に応じて管理者会議に話題提供を行っている。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	苦情解決委員会を設置し、第三者による外部評価は行っていない。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2		施設内研修のほか、医療・教育・福祉領域との療育フォーラムを定期的に行っている。	
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		訪問支援員による行動観察に加え、保護者による家庭内の様子も含め支援計画を作成している。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		児発管や地域(福祉課・子ども課・教育委員会など)からの情報も含め、子どもにとって最善な支援が行えるよう努力している。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		モニタリング会議などで、施設や担任の具体的な意向を聞き取りできるようにしている。学校担任作成の個別教育支援計画の共有ができるとうい。	学校の先生方に個別教育支援計画の共有をお願いしていく。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		定期的なモニタリング会議において、支援計画の振り返りを実施している。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		訪問支援員による行動観察、感覚プロフィールに加え、教育委員会など行政で実施した心理学的な諸検査も含めアセスメントしている。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		認知、運動、対人、ADL、集団生活面、児の成長段階、発達特性など考慮し必要な支援内容を考えている。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		相談支援専門員・児発管・訪問支援員含め子どもの状態に沿った支援計画であるか振り返りを行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		2	基本個別担当の為、実施していない。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2	相談支援専門員との振り返りが多い。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2			
	18 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		個人情報に注意し、写真含め毎回記録している。児の様子だけでなく、児と相手との相互関係を捉え記録するようにしている。	勤務時間超過があり、業務の効率化を検討する必要がある。
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		こどもの様子から、保護者や相談支援専門員と相談しモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		必ずこどもの担当者が会議に出席できるようにしている。	
	21 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		地区特別支援教育コーディネーター等連絡会や自立支援協議会と連携をとっている。子ども課同行訪問も実施している。	
	22 就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就学、小学校から中学校、中学校から高校の段階での情報提供を行った。移行後、訪問を実施し、再度情報伝達している。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		主治医並びにリハビリ担当者(PT・OT・ST・CP)より、情報と助言を受けている。	
	24 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		会議への出席並びにこども家庭センターとの新たな連携について研修会を行った。	
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		こどもの理解については、集団場面と家庭場面の両面から共通理解ができるように努めている。	
26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ペアレントトレーニングはエビデンスに基づき慎重に行っている。基本個別に行うが継続が困難なケースが多い。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
保護者等 への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		訪問事業の契約時において、重要事項の説明を行い、契約書作成の段階で各事項を確認している。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問支援を行う前に、保護者に対し事業説明並びにモニタリングの説明を通し目的について説明している。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		計画書を作成する以前に、調整会議にて保護者の意向を聞き取り、支援計画書を作成し内容を確認後保護者より、サインを頂いている。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		同上	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		携帯電話を活用し、通話及びメールで相談できる体制をとり、助言と支援を行っている。 当センター受診に合わせて面談を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		療育フォーラムの案内を行い、話し合いの場を設けている。	
	33 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		携帯電話を活用し、通話及びメールで相談できる体制をとり、助言と支援を行っている。 当センター受診に合わせて面談を行っている。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		2	行政に対しては、リーフレットを用いて事業の説明を行っている。利用者間については、デリケートな面があり意図的に連絡体制は作っていない。	
35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		PC関係はパスワードをかけている。ファイルの保管は個人名がわからないように管理している。		
訪問先施設 への説明等	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		保護者の同意を得て、必要に応じ子どもと連絡が取れるようにしている。	
	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		問題発生及び問題の予防が必要と判断された時、随時支援が行える体制をとり支援を行っている。	
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問先の先生方が忙しく毎回訪問後話し合いの時間は取れにくいことも含め、時間を設定し短時間でも話し合いができるように努力している。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		保護者の同意のもと、訪問先の職員とは話し合いのほか、電話・メールで連携をとっている。	
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		記録の保存、守秘義務の説明を行っています。	
非常時等の 対応	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		適切な助言を考え、リハビリ担当者の訪問を検討している。	
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		定期的に施設内研修を行っている。	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			